

様式 A 技術英語講読（香取）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	技術英語講読 Technical English Reading		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・電気電子工学	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	EC-1	必修・履修・履修選 択・選択の別	選択
	担当教員・所属系	香取重尊・総合理工学科先進科学系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	工学/電気電子工学・情報工学		
	学習教育目標との関 連	本科目は専攻科学学習目標「(4) 特別研究を自主的、積極的に推進することにより、技術者として必須の問題発見能力と課題解決能力，すなわち創造的な成果を生み出すデザイン能力，研究能力を身につけるとともに，研究結果を学会などで発表し，他の研究者や技術者との交流を通じて，プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を身につける。」に相当する科目である。		
	技術者教育プログラ ムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」であるが，付随的には「B-1」にも関与する。		
	授業の概要	グローバル化が急速に進展する現代の社会においては，工学系の学生にとって英語の読解力，作文力，会話力は必須の位置づけにある。本講座は技術英語を中心に英語力を身につけるためのもので，工学分野の英語論文，英語解説文を教材として英語力の養成を目指す。		
	学習目的	基礎工業英語の読解力，表現力を養成するとともに，研究テーマ内容を英語論文形式でまとめ発表できる能力を養う。		
	到達目標	1. 工業英語論文を読みその技術内容を纏めて報告できる力を養成する。 2. 現在進めている研究内容を工業英語論文としてまとめる力を養う。 3. 英語で発表を行うことにより，コミュニケーション力向上を図る。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位当り授業時間として 15 単位時間開講するが，これ以外に 30 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		英字新聞や国際論文に常に目を通し，英語に慣れ親しんでおくこと。		
基礎科目		本科 3, 4 年で履修した英語Ⅲ，Ⅳ等の英語科目，電気磁気学（電気電子，情報 3, 4），電子工学（電気電子，情報 3）など		

関連科目	専攻科で学習する科目全般
------	--------------

様式 B 技術英語講 読 (香取)

授業にかかわる情報				
授業の方法			前半は基礎工業英語の読解力を養成するとともに基礎構文や文法の修得，基本単語の修得を図る。後半では各人の研究内容を英語論文としてまとめて発表させる。メンバー相互のコミュニケーション力の向上を図る。	
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕（指示事項）	
	前 期	1 週	・ガイダンス，実力確認テスト	
		2 週	・技術英語の基本修得および科学英文の輪読①	課題英文の訳文作成
		3 週	・技術英語の基本修得および科学英文の輪読②	課題英文の訳文作成
		4 週	・技術英語の基本修得および科学英文の輪読③	課題英文の訳文作成
		5 週	・技術英語の基本修得および科学英文の輪読④	課題英文の訳文作成
		6 週	・技術英語の基本修得および科学英文の輪読⑤	課題英文の訳文作成
		7 週	・小テスト	
		8 週	・英語論文の輪読および研究内容の論文化	研究内容の英文化
		10 週	・英語論文の輪読および研究内容の論文化	研究内容の英文化
		11 週	・英語論文の輪読および研究内容の論文化	研究内容の英文化
		12 週	・英語論文の輪読および研究内容の論文化	研究内容の発表資料の作成
		13 週	・英語による研究内容の発表①	研究内容の発表資料の作成
		14 週	・英語による研究内容の発表② (各自の研究内容の小論文化)	研究内容の発表資料の作成
		15 週	・英語による研究内容の発表③	
		教科書，教材等		教科書：プリント配布 参考書：村田 誠四郎 著「科学英語論文の全て」丸善社 グレン・パケット 著「科学論文の英語用法百科」京都大学学術出版会
	成績評価方法		小テスト(60%)，研究論文および発表(40%)とする。 小テストは再試を行う場合もある。但し再試結果の上限は 60 点(100 点満点)とする。英語論文は指定した期日までに必ず提出すること。	
受講上のアドバイス		授業の各単位時間の開始時に出席をとり，その際返事がなくその後入室してきた者は遅刻とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。授業時間外の学習（予習と復習および論文提出）は行わなければならない。研究内容発表のときは短時間で論理的に発表できるように準備しておくこと。発表者以外は発表に対する質問を積極的に行うこと。		

ルーブリック								
	優		良		可		不可	
評価項目 1	工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、的確に纏めて報告できる。		工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、纏めて報告できる。		工業英語論文を読みその技術内容のポイントを把握し、報告できる。		工業英語論文の読解力が不十分で内容を説明できない。	
評価項目 2	自分の研究内容を工業英語論文としてまとめる力を有している。		自分の研究内容を的確な英文でまとめることができる。		自分の研究内容を英文でまとめることができる。		自分の研究内容を英文でまとめることができない。	
評価項目 3	自分の研究内容を技術的な単語を用いて正確に英語で発表することができる。		自分の研究内容を的確な英語で発表することができる。		自分の研究内容を英語で発表することができる。		自分の研究内容を英語で発表することができない。	
評価割合								
	試験	発表・演習	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計	
総合評価割合	0	60	0	0	40	0	100	
基礎的能力	0	60	0	0	40	0	100	
専門的能力	0	60	0	0	40	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	